

平成 30 年度 均等・両立推進企業表彰

厚生労働大臣優良賞 ファミリー・フレンドリー企業部門

株式会社デンソー

所在地：愛知県刈谷市 業種：製造業 従業員数：約 51,500 人

**両立支援制度の拡充による育児支援からキャリア形成支援に取組をシフト。
介護支援はさまざまなシーンを想定し、情報提供。柔軟な働き方に対する取組にも注力**

1 両立支援に関する基本方針

- ◇ 平成 16 年度から両立支援制度の拡充に着手。平成 26 年度からは育児支援からキャリア形成支援に取組の方向性を転換し、制度も一部見直し。さらに男性の育児参画にも注力
- ◇ 人事部人戦略室内の人材活躍推進課が中心となり、人事制度・福利厚生は労務室と連携して取組を推進

2 育児休職制度

- ◇ 制度 **子が小学校を卒業するまでの間で通算 3 年間、5 回まで、暦月単位で取得可能**
- ◇ 利用状況 過去 3 年間における女性の育児休職取得率は 100%
過去 3 年間における男性の平均休職日数は 82 日

3 介護休職制度

- ◇ 制度 対象家族 1 人かつ傷病ごとに**最大 1 年間、何回でも分割取得可**
- ◇ 利用状況 過去 3 年間に男性 75 名、女性 48 名が取得。復職率は、男性 100%、女性 98%

4 勤務時間短縮等の措置

- ◇ 育児のための制度
 - ・ 短時間勤務制度：**子が小学校を卒業するまで通算 4 年、暦月単位で利用可能**（回数上限なし、月 5 日を上限にフルタイム勤務が可能）
- ◇ 介護のための制度
 - ・ 勤務時間短縮措置：**通算 3 年間、2 回まで、暦月単位で利用可能。6 時間又は 4 時間 30 分**
から選択可能（フレックスタイム制度非適用者）

5 その他の制度

- ◇ 男性の育児参画を目的とした**配偶者出産休暇制度は配偶者出産前 15 日～出産後 3 か月以内で 5 日間まで取得可能（分割取得可、有給）であり、平成 29 年度は 555 名が利用**
- ◇ 前年度から繰越した年休を当年度内に使用しない場合、やすらぎ休暇として、最大 20 日間まで積立可能。半日単位で本人、配偶者、子女、本人及び配偶者の両親の傷病時に利用可能

6 社内環境整備

- ◇ 働き方改革による、多様な社員一人ひとりがより成長・活躍できる会社の実現に向け、取組を推進
- ◇ 柔軟な働き方を推進するため、平成 2 年度にフレックス勤務、平成 23 年度に裁量労働制度（平成 29 年度に拡充）を導入。平成 30 年 10 月～コアタイム（出社義務）がない在宅勤務制度（上限 5 日/月）と、コアタイム（出社義務）があるが、コアタイム以外の勤務時間・場所を柔軟に選択可能なテレワーク制度をフレックスタイム制度適用の全従業員を対象に導入
- ◇ 夏期（6 月～8 月）に本社と先端技術研究所において、**コアタイムを 1 時間短縮し、通常勤務（8：40～17：40）の 1 時間前倒しで勤務する朝型勤務「Morning Shift」を推奨**
- ◇ 従業員一人ひとりの行動を応援する取組として平成 29 年から「Start-up！応援金」を導入。「学び」（ビジネススキルセミナー、オンライン学習、趣味や一般教養等）、「健康増進」から選択して取組を進め、支給要件を満たした場合、最大 18,000 円を支給
- ◇ 平成 19 年にトヨタグループ会社 5 社で事業所内託児所の運営・管理会社を設立し、現在 6 施設を運営。生後 8 週間～小学校入学前までの児童を受け入れており、祝日の一時保育も実施
- ◇ 育児期の自己成長や復職後の働き方を考える育休前面談、育休後面談を実施。**面談マニュアルを上司向け（技能系、総合職・実務職向けの 2 種類）、育休者向けに作成し、面談実施の目的やポイント等を解説**
- ◇ 仕事と介護の両立について積極的に情報公開を行い、家族で考える介護ハンドブックを作成・配布。また、**遠距離・親の介護・介護事情の 3 つのシーン別介護セミナーを毎年実施**